

日本コミュニティ心理学会  
第24回大会 プログラム

**ウィズコロナ時代に求められる  
コミュニティ心理学の叡智**

会期 2021年9月18日(土)・19日(日)

方式 オンライン

大会長 水野 治久

## ごあいさつ

この度、第24回大会の大会長を務めさせていただくことになりました水野治久です。今回の大会は様々な意味で従来の大会とは異なります。一つは、大学という空間で大会を計画しなかったことです。第24回大会は最初からオンライン開催を計画いたしました。従来の大会であれば、おそらく大阪教育大学天王寺キャンパスにご参集いただき、大阪・天王寺の高層ビルや大阪のミナミの雰囲気を楽しんでいただきながらの大会となったと思います。

しかし、当初からのオンラインの開催でしたので、実行委員の先生方も若手会員を中心に依頼いたしました。実行委員の先生方の勤務先は、関西、中国、中部、関東、そして北海道と全国に広がっております。これが、私達が体験したここ数年間の変化なのだと実感します。

移動がなく大会に参加できるオンライン大会のメリットも十分に発揮し、様々な会員の方が、気軽に参加できるような大会をめざしました。オンラインで、コミュニティを考えるとということになります。オンラインでは、身体をそこに置かないので情報量が限られますが、同時に多くの方とのコミュニケーションが可能になります。

さて、今大会のテーマは「ウィズコロナ時代に求められるコミュニティ心理学の叡智」とさせていただきます。ソーシャルディスタンスが必要なときに、私たちがコミュニティ心理学会の中で考えてきた様々な知恵や技法、知見、そして臨床的な感覚も含め、何がどのように応用できるのか、そしてどのようなことを今の状況から学べば良いのかを考えたいと思いました。

このような状況の中では、一定の解が存在しません。行動一つ一つに判断が求められ、その判断が社会に影響を及ぼします。本大会も対面の開催の可能性があったわけですが、オンライン大会とさせていただきます。どちらが良いのか、大会企画中は判断できません。おそらく、大会が終わり、参加された方々にご判断いただくものだと思っております。

オンラインでの二日間の大会となります。参加者の皆様にはご自身でパソコンやタブレット、通信環境を整備していただく必要がございます。画面の関係で見にくい場合もあろうかと思えます。どうか先生方で調整され、無理のない範囲で参加いただければ幸いです。インフォーマルな交流の場も設定しております。ぜひ、オンラインの大会における“コミュニティ”を体験していただければ幸いです。

ぜひ、会員の皆様にとって有意義な大会になるようにしていきたいと思っております。何とぞよろしくお願いいたします。

日本コミュニティ心理学会第24回大会 大会長 水野 治久

## 大会参加者へのご案内

### 1. 参加申し込み、参加費について

- ・参加は、原則として、事前登録制となっております。

2021年9月10日（金）までに申し込んでください。当日参加登録はできますが、当日受付（Zoom）対応人員に限りがありますので、以下の事前参加申込サイトからできる限り事前登録をお願いします。

<https://jscp2021taikai.peatix.com/>



※大会当日参加申込者は、大会当日に以下のグーグルフォームへご申請ください。  
大会事務局がご申請を確認したのち、総合受付のZoom IDをご案内します。  
返信がない場合にはお手数ではございますが、  
大会事務局（[jscp2021taikai@gmail.com](mailto:jscp2021taikai@gmail.com)）までご連絡ください。

<https://forms.gle/Vr1fdNY6dZg1aEmq5>



大会当日の総合受付では、係の者と直接話していただきます。  
そこで案内される方法に基づいて、払い込みをしてください。  
（コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの払い込みとなります）

- ・非会員の方は臨時会員としてご参加いただけます。  
参加申込サイトで「チケットを申し込む」を選択し、「参加費：非会員」または「参加費：非会員（大学院生）」を選択し、その後、必要な情報を入力し、申し込みを行ってください。  
なお、本大会では、学部生は参加費無料となりますが、  
**事前参加申込サイトで「参加チケット：学部生」を、必ずお求めください。**

## 2. お名前について

Zoom上で、お名前とご所属が表示されるようにお願いします。

記載例：○○ ○○（△△大学）

※詳しい接続方法については、大会ホームページ上にある

「Zoom を利用したオンライン会議への参加」をご確認ください。

Zoom 上にお名前が表示されていない方については、別途確認の上、  
場合によっては、ご退出いただく場合があります。

## 3. そのほかについて

- ・オンライン開催により、参加者のご自宅職場等から遠隔での参加となります。
- ・参加に必要な機材等の準備は各自でお願いします。
- ・他者の同席や録音録画をご遠慮ください。

## 4. 連絡先

- ・当日のお問い合わせなどは、  
大会期間に設置される【総合受付（Zoom）】でお受けしますが、  
混雑時には、以下の、第24回大会事務局直通のメールアドレスにご連絡ください。

<p><b>【第24回大会に関する連絡先】</b></p> <p><b>第24回大会事務局</b> 〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88 大阪教育大学天王寺キャンパス 大阪教育大学高度教職開発系 水野治久研究室 Email <a href="mailto:taikai@jscp1998.jp">taikai@jscp1998.jp</a> <a href="mailto:jscp2021taikai@gmail.com">jscp2021taikai@gmail.com</a> (直通)</p>	<p><b>【学会(入会手続・住所変更等)に関する連絡先】</b></p> <p><b>学会会員管理事務局</b> 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター内 TEL 03-6824-9375 FAX 03-5227-8631 Email <a href="mailto:jscp-post@bunken.co.jp">jscp-post@bunken.co.jp</a> 受付時間 9:00~16:00(土日休み)</p>
---	--

## 大会日程

### 大会一日目 9月18日（土）

時間	分類記号	事項
09:30～09:40		開会の挨拶
09:40～11:10	18-A	オンライン発表（3件）
10:00～ 終日	特	大会企画特別講演（オンデマンド配信）
11:15～12:45	18-B	オンライン発表（3件）
12:50～13:50	18-総	総会
14:00～15:30	18-合	編集委員会・教育研修委員会 合同企画シンポジウム
15:40～16:40	18-C	オンライン発表（2件）
16:20～18:20	18-企	自主企画ラウンドテーブル
16:50～18:20	18-D	オンライン発表（3件）

### 大会二日目 9月19日（日）

時間	分類記号	事項
0:00～18:00	特	大会企画特別講演（オンデマンド配信）
09:00～10:30	19-A	オンライン発表（3件）
10:40～12:10	19-B	オンライン発表（3件）
12:30～13:50	19-集	若手の集い、会員の集い
14:00～16:00	19-指	大会指定シンポジウム
16:10～17:40	19-C	オンライン発表（3件）
17:45～17:50		閉会の挨拶

- ※ 各企画・セッションのアドレスは、追って[登録者限定大会ホームページ](#)でご案内します。
- ※ 大会企画特別講演はオンデマンド配信しますので、[登録者限定大会ホームページ](#)に掲載されているYouTubeのURLを確認し、アクセスしてください。

### 大会関連事項

	9月11日	9月12日	9月17日	9月18日 (大会一日目)	9月19日 (大会二日目)
役員会（理事・監事会）	18:00-20:00				
発表者用事前確認(希望者のみ)		09:00-11:00			
プレコングレス(申請者のみ)			18:30-20:00		
総合受付				09:00～16:50	08:30-16:10
休憩所				09:00～16:50	08:30-16:10
懇親会（参加者出入り自由）				19:00～21:00	

## 大会企画・プログラム

### 1. 大会企画特別講演（特）

テーマ ウィズコロナ時代に求められるコミュニティ心理学の叡智  
講演 久田 満  
（上智大学総合人間科学部／日本コミュニティ心理学会前会長）  
備考 オンデマンドで、YouTubeにて、映像配信します。  
URLは、登録者限定大会ホームページの所定の場所に、  
貼り付けます（限定公開動画）。  
参加登録者は、大会期間中いつでも視聴できます。

### 2. 大会指定シンポジウム（19 - 指）

日時 9月19日（日）14：00～16：00

テーマ ウィズコロナ時代の大学教育とは  
－ コミュニティ心理学から考える

話題提供 山上 史野（金沢工業大学基礎教育部）  
永井 暁行（金沢星稜大学教養教育部）  
林 幸史（大阪国際大学人間科学部）

指定討論 高橋 美保（東京大学大学院教育学研究科／日本コミュニティ心理学会会長）  
水野 治久（大阪教育大学高度教職開発系／第24回大会大会長）

司 会 木村 真人（大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部機関教育機構／第24回大会副大会長）

アドレス Zoomアドレスは当日までに、  
登録者限定大会ホームページでご案内します。

備考 話題提供・指定討論は、事前に撮影された動画を、  
当日14：00～15：15まで、Zoom ウェビナー上で配信します。  
\*登録者限定大会ホームページの所定の場所に、  
大会期間中、動画データを掲載します。  
指定討論に対するリプライおよびディスカッションは、  
当日15：15～16：00に、リアルタイムで実施します。  
参加登録者は、当日に  
Zoom ウェビナーの質疑応答機能を用いて質問することができます。

### 3. 合同企画シンポジウム（18 - 合）

日 時 9月18日（土）14：00～15：00

テーマ 研究成果をコミュニティに

－ 日常の疑問を研究論文に仕上げるまで

話題提供 荊木 まき子（就実短期大学幼児教育学科）

後藤 綾文（岐阜聖徳学園大学教育学部）

指定討論 石盛 真徳（追手門学院大学経営学部）

司 会 永井 智（立正大学心理学部）

企 画 日本コミュニティ心理学会編集委員会・教育研修委員会

アドレス Zoomアドレスは当日までに、  
登録者限定大会ホームページでご案内します。

### 4. オンライン発表、自主企画ラウンドテーブル（18 - A～D、企、19 - A～C）

日 時 9月18日（土）

18-A 9：40～11：10

18-B 11：15～12：45

18-C 15：40～16：40

18-企 16：50～18：20

18-D 16：20～18：20

9月19日（日）

19-A 9：00～10：30

19-B 10：40～12：10

19-C 16：10～17：40

アドレス 各セッションのアドレスは、発表者にご連絡します。  
参加者には、当日までに登録者限定大会ホームページでご案内します。

## 5. 若手（大学院生・若手研究者）の集い（19 - 集 - ①）

日時 9月19日（日）12:30～13:50  
対象 大学院修士あるいは博士課程修了後3年未満の方  
（臨時会員、学部生も歓迎）  
テーマ “大学院の生活ってどんな感じですか？”

概要 一つの同じ部屋で集い、語らう時間は、実践・研究を進めていく上で大事な一部ではなかったかと思います。そうした場が持ちにくい現状の中での、皆さんの生活は、いかがでしょうか。  
テーマは、ゆるく「大学院の生活ってどんな感じですか？」。ファシリテーターも交えつつ、院生同士、生活について近況を報告したり、論文投稿について質問したりする場にできればと思います。食事をしながら、自由にご参加ください。

ファシリテート 後藤綾文（岐阜聖徳学園大学教育学部）

アドレス 当日までに登録者限定大会ホームページでご案内します。

## 6. 会員の集い（19 - 集 - ②）

日時 9月19日（日）12:30～13:50  
対象 正会員（臨時会員も歓迎）

タイトル 本音で語ろう ウィズコロナ時代とコミュニティ心理学  
－ グループ・ディスカッションによる叡智を目指して－

概要 COVID-19は、一見すると様々なコミュニティにおける均衡をくずしたかに見えます。一方で、このウィズコロナ時代にあって、我々が最も大事にする各コミュニティには、様々な知が結集されて今日に至っているとも言えましょう。会員の集いでは、昼食をとりながら、本音で語り合うことによって、今の時代に求められる「叡智」に迫りたいと思います。どうかお気軽にご参加ください。

ファシリテート 第24回大会運営委員会委員

アドレス 当日までに登録者限定大会ホームページでご案内します。



**7. 総会（18 - 総）**

日 時 9月18日（土）12：50～13：50

アドレス 学会事務局から、会員に別途ご案内があります。

**8. 役員会（理事・監事会）**

日 時 9月11日（土）18：00～20：00

アドレス 学会事務局から、役員へ別途ご案内があります。

**9. 懇親会について**

18日（土）は、大会参加者限定での懇親会を開催予定です。

Zoomのブレイクアウトルーム（参加者によるルーム選択を許可）機能を用います。

メインルームは、

「共有 案内板（パワーポイント）」と「自動音声のみ」でのご案内となります。

参加者が、各ルームの「人数」を確認した上で、各部屋を自由に出入りする形式となっております。お誘い合わせの上、奮ってご活用ください。

アドレス 当日までに登録者限定大会ホームページでご案内します。



## プレングレスのご案内

### 2021年度 教育研修委員会企画研修会（基礎編）

企 画	日本コミュニティ心理学会教育研修委員会
タイトル	コミュニティ心理学的視点からの事例検討
日 時	9月17日（金）18：30～20：00
対 象	以下の二つの条件を満たす方 1) コミュニティ心理学の初学者、及びその知識を現場で活かしたいと考える人 2) 守秘義務を帯びた有資格者、またはその養成課程にある大学院生・学部生
参加費用	1) 第24回大会参加の方は、無料 (但し、別に、参加申し込みが必要) 2) プレングレスのみの参加の方は、1,000円
研修内容	学会ホームページおよび、大会ホームページをご確認ください。
参加申込先	申込日の違いにより、申込先が異なります。ご注意ください。 1) 第24回大会参加者優先受付 申込期間：2021年8月25日（水）まで 申込先： <a href="https://forms.gle/TvAmkZ415gG3kZEi6">https://forms.gle/TvAmkZ415gG3kZEi6</a> 2) 一般受付 申込期間：2021年8月26日（木）～9月8日（水） 申込先： <a href="https://jscpkenshu2021.peatix.com">https://jscpkenshu2021.peatix.com</a>
研修指定事例	『HIV感染の治療過程で自殺企図を繰り返した在日外国人』 こころと文化14(2), 147-158 掲載論文
補足説明	飯田 敏晴（立教大学現代心理学部／教育研修委員会委員長）
コメント	葛西 真記子（鳴門教育大学大学院学校教育研究科）
司 会	板東 充彦（跡見学園女子大学心理学部／教育研修委員会副委員長）
備 考	研修指定事例の論文は、ご指定の住所に、事前に郵送されます。

## 研究発表案内

### オンライン発表

受付： 別途ご案内する各セッションのアドレス（Zoom会議URL）に10分前にお入りください。

構成： 各セッションは、60分～90分で構成されます。※発表者の交替の時間や、発表資料の画面共有等の時間も含まれますので、時間厳守をお願いいたします。

発表： 1件につき15分以内

- ・発表形式はパワーポイントでも、画像でも、ポスターでも構いませんが発表資料は当日の議論がしやすいように、事前に登録者限定大会ホームページに公開させていただきます（外部からの保存はできないように加工します）。公開希望者は、当日の発表資料のデータを、**9月11日(土)までに**事務局あてにご提出ください。

【事務局】Email jscp2021taikai@gmail.com

- ・当日、不測の事態で発表（オンライン）ができなかった場合、事前に提出された発表資料に対して、チャット等で質問をいただき、それに対して回答するなど別の手段で対応し、発表を行ったものとみなします。回答内容は、登録者限定大会ホームページに、大会開催期間の翌日まで掲載します。無断で欠席した場合は発表とはみなしません。以下の大会事務局まで、事情をお知らせください。

【事務局】Email jscp2021taikai@gmail.com

質疑： 1件につき15分以内

資料： 発表資料は大会登録者のみが閲覧できる形で、発表論文集とは別に9月16日（木）に登録者限定大会ホームページで公開します。

進行： 進行は、座長が担当します。

機器： Zoomへのアクセス環境を含め、各自でご用意ください。

### 【事前確認】

- ・Zoomでの会議に参加したことがない方は、大会ホームページ上にあるファイル「Zoomを利用したオンライン会議への参加」を確認し、実施に必要なパソコンとインターネット環境の準備をお願いします。
- ・念のため、発表者が、事前にZoomにおつなぎいただくテスト日を9月12日（日）9～11時に設けます。必要な発表者は、発表資料データ提出時にお知らせください。

【当日】

### オンライン発表者

- ・大会用アドレス（Zoom 会議 URL）にご発表の 10 分前にお入りください。  
スタッフが待機していますので、お入りになりましたら、  
チャット機能を利用し「発表者〇〇です。」とメッセージを送ってください。
- ・会議のホストは、事務局でつとめます。
- ・座長の指示に従い、カメラ・マイクをオンにして、発表を開始してください。  
また表示される名前は、「お名前（ご所属先）」に変更してください。  
※「Zoom を利用したオンライン会議への参加」を参照
- ・発表資料データは、発表者が各自、画面共有し操作してください。  
（画面共有の仕方について、ご心配な先生は9月12日（日）9時～11時のテスト日を  
活用してください）

### 発表者以外の参加者

- ・大会用アドレス（Zoom 会議 URL）よりお入りください。
- ・カメラ・マイクはオフの状態をお願いいたします。また表示される名前を  
「お名前（ご所属先）」に必ず変更してください。  
※「Zoom を利用したオンライン会議への参加」を参照

### 質疑の方法

- ・発表者と参加者が一つの画面で議論を展開する形となります。
- ・質問は、オンライン発表では、Zoom ミーティングのチャットか挙手機能を使い  
行ってください。チャットでの質問は、発表中随時受け付けます。
- ・円滑な運営のため、座長からの指示に従うようにご協力お願いします。
- ・質疑の時間を十分にとるために、発表論文集・発表資料（登録者限定ホームページで  
事前公開します）もご活用ください。

- ※なお、本大会での大会指定シンポジウムのみ、Zoom ウェビナーでの開催となります。  
参加者（出席者）は、話題提供者・指定討論者（パネリスト）と司会・実行委員（ホスト  
および共同ホスト）に、チャットで質問をすることができます。  
ウェビナー入室時には、名前とメールアドレスを入力が求められます。  
入力後、「ウェビナーの参加する」をクリックしてください。  
なお、入力時には、必ず、「名前（所属名）」、をご明記ください。  
参加者の名前は、原則として、他の参加者には非公開となります。
- ※Zoom の使用について、疑問点やご不安な点等ありましたら、登録者限定ホームページ  
上にある「Zoom を利用したオンライン会議への参加」をご参照の上、必要に応じて  
9月11日（土）までに事務局あてにメールでご質問ください。発表者の方は、  
別途ご案内する9月12日（日）9～11時のテスト日もご活用ください。

# 大会企画

## 大会指定シンポジウム

9月19日（日）14：00～16：00

## 大会企画特別講演

オンデマンド配信

9月18日（土）10：00 ～ 9月19日（日）18：00

## 編集委員会・教育研修委員会共同企画シンポジウム

9月18日（土）14：00～15：30

## 大会指定シンポジウム（Zoom ウェビナー）

2日目 9月19日（日） 14:00～16:00

### ウィズコロナ時代の大学教育とは：コミュニティ心理学から考える

話題提供	山上 史野（金沢工業大学）
	永井 暁行（金沢星稜大学）
	林 幸史（大阪国際大学）
指定討論	高橋 美保（東京大学）
	水野 治久（大阪教育大学）
企画趣旨説明・司会	木村 真人（大阪国際大学）

#### 企画趣旨

新型コロナウイルス感染症は、私たちの家庭、学校、職場、地域などのコミュニティに大きな影響と変化を及ぼしている。大学教育も例外ではなく、大学コミュニティのありようも変化・変容している。このようなウィズコロナ時代において、コミュニティ心理学は大学教育にどのように貢献できるのだろうか。今大会の指定シンポジウムでは、大学コミュニティの現場、その中でも私立大学に焦点を当てて、それぞれの立場から大学教育にかかわっている先生方に、その実践・研究について話題提供をいただき、コミュニティ心理学の観点から、ウィズコロナ時代の大学教育について、登壇者・参加者で議論を深めていきたい。

#### 話題提供

##### ■山上 史野 氏「地方大学学生相談の現場から見た COVID-19 を取り巻く環境と大学生」

学生相談は、精神健康面へのケアに加え、学生が通う最後の教育機関として彼らの心理的成長を見守り、社会の一員へと円滑に移行するための教育的支援を担っている。

昨年度から現在にかけて、COVID-19 感染の影響により、対面授業、研究活動、課外活動、進路に関わる活動、および集会での交流等大学生活を構成するあらゆる活動が制限される事態となっている。不自由な環境にある学生へ支援の手を届けるため、全国の学生相談においてリモート支援を取り入れたハイブリット実施が急展開された。

本学は学生数 7000 人ほどの地方工科系大学であり、比較的早めに対面授業が再開され、現在はリモートを交えた授業運営が行われている。当学生相談でもリモート支援を含めた活動を試みたが、昨年度の対応総数は前年度比で約 14%減、個別相談対応数は約 4%減となった。そして自粛が緩和されつつある今年度、相談件数は例年になく多く、最中であつた昨年度には見えにくかつた多様な問題が顕在化しつつある。一方で、自粛生活の環

境だからこそ大学不適応が緩和した事例や、リモート支援を余儀なくされた結果として支援手法の新たな展開が生まれるなど、こうした環境が奏功した事態も生まれている。

話題提供では、学生相談を取り巻く昨年度からの動向を紹介しながら、筆者が所属する学生相談での支援活動、当局との連携、相談件数等の統計、および、他大学の大学カウンセラーとの情報交換の実際について振り返り、反省を踏まえつつ、COVID-19感染予防を取り巻く環境が学生に与えた影響と今後の支援の在り方について考えたい。

#### ■永井 暁行 氏 「インターネットを活用した非対面のピア・サポート活動の事例報告」

2020年度より、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の拡大は大学教育にも大きな影響を及ぼした。COVID-19の感染拡大を防ぎ、かつ教育活動を維持するために多くの大学で非対面の授業が取り入れられた。非対面の授業が取り入れられることによって、大学の学生や教員が大学および教室に参集することなく、授業が行われることになった。この方針に合わせて、学生支援や学生を支援するコミュニティ・団体の活動も、非対面での活動に移行した。従来、多くの学生支援や学生支援団体の活動、コミュニティの維持・発展は対面での支援や活動を前提としており、非対面での活動は過去にほとんど例がない。そのため、COVID-19の影響下における学生支援の活動については、未だに参考となる事例が乏しい状況が続いている。そこで、インターネットを活用して新入生の支援を試みた学生ピア・サポーターの事例を学生支援団体の活動事例紹介として報告する。活動した学生とこの団体の指導を担当していた担当職員へのインタビューから、オンラインでの学生支援活動の特徴や意義を検討する。大学教育におけるピア・サポート活動とは、学生が学生の支援に携わる活動やプログラム・制度である。支援を要する学生に対して、同じ学生という立場を生かした支援を提供できるというメリットがある。また、同時に支援する学生ピア・サポーターにとっても教育効果が期待されている。これまでに蓄積されてきたピア・サポートに関する知見も、対面での活動が前提とされており、感染の拡大を防止しながら学生による学生支援を維持・発展できる仕組みや取り組みについての議論は十分ではない。非対面における学生支援の特徴について様々な事例を共有し、積極的に検討を重ねていくことが求められる。

#### ■林 幸史 氏 「「フォトコミ」という大学生による授業実践」

フォトコミ（フォト・ベースド・コミュニケーション）とは、本格的な一眼レフカメラを用いて、子どもたちに感性に基づく自由な表現の機会を提供する教育プログラムである（林・青野，2020）。話題提供者らは、2017年度より年に1回のペースで大阪府下の小学校に数名の大学生をアシスタントとして引き連れ、フォトコミの出張授業を行ってきた。2020年度より、大学生が中心となって小学校で授業を実施する方針に転換していたが、所属大学でも大半がオンライン授業となった。大学はそのような状況にあったが、2020年の11月と12月、2021年の6月と7月、大阪府下の2つの小学校において、大学生が主体となったフォトコミ授業を実施する機会に恵まれた。



話題提供では、大学生らがフォトコミについて議論し、準備を進める授業を担当した教員として、彼らを見守る中で感じたことや、学生らのレポートをもとにお話を展開したい。具体的には、次の3点について予定している。第1に、写真を用いることの有用性である。写真は他者との視点共有を可能とする。大学生らは、子ども達が撮影した写真から、彼らの目線を学び、子どもならではの感性に触れることができた。写真という媒体は時には言葉以上の内容を伝達しうるし、言葉では伝達できないイメージも伝達する可能性を有している。第2に、小学校の教室という現場（フィールド）がもつチカラについてである。第3に、支援-被支援の関係性についてである。大学コミュニティにおいては、支援される対象として捉えられることが多い大学生であるが、小学生の写真表現のサポートをすることで、支援する側の立場を経験することになる。この経験が大学生にとってもつ意味についても考えてみたい。

## 大会企画特別講演

大会期間中（9月18日（土）10：00 ～ 9月19日（日）18：00）  
いつでも映像を視聴できます。大会登録者にオンデマンドで映像配信します。

### ウィズコロナ時代に求められるコミュニティ心理学の叡智

企画	日本コミュニティ心理学会 第24回大会運営委員会
講演	久田 満 (上智大学／日本コミュニティ心理学会前会長)

#### 企画趣旨

ウィズコロナ時代にあって心の課題は山積しているが、その一定の解は存在しない。この理由の一つに、“ウィズ（または“アフター”）”という用語が示すように、実際の問題には、時間と空間軸とが密接に関与していることが挙げられる。私たち一人一人は、この時代に、どのようなことをしていくべきなのだろうか。本講演では、こうした作業を進めるためのヒントを得ることに寄与すべく企画された。

#### 講師紹介

久田 満 氏

上智大学人間総合科学部教授・多文化共生社会研究所所長。

博士（医学）公認心理師、臨床心理士、日本コミュニティ心理学会前会長。

著書として、『コミュニティ心理学ハンドブック』（分担執筆、東京大学出版会）、  
『よくわかるコミュニティ心理学』（共編著、ミネルヴァ書房）』、  
『コミュニティ心理学シリーズ』（筆頭編者、金子書房）など

## ウィズコロナ時代に求められるコミュニティ心理学の叡智

久田 満  
(上智大学)

世界保健機関（WHO）によって COVID-19 と名付けられた新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっている。累計感染者数は 2 億人を突破し、死者数も 500 万人に迫る勢いである。

日本も例外ではない。第 5 波の真ただ中、2021 年 8 月 14 日の全国紙（朝刊）はコロナ関連の記事が 1 面を占領し、「一日の感染者数が 20,000 人超」「国内の重症者は過去最多の 1,478 人」「感染拡大に歯止めがかからず」「全国に緊急事態宣言を」などの見出しが躍っている。日本の累積感染者は 100 万人を超え、死亡者も 15,000 人に達した。本大会開催時点ではこれらの数字はさらに大きくなっているだろう。

パンデミックの怖さは、医療の領域をはるかに超えて、日常生活の様々な側面に多大な影響を与えることである。感染者に対する差別、失業者の増大、若年の自殺者や虐待される子どもの増加など、枚挙に暇がない。

感染症との「共存」が当然となった時代を迎えた今、コミュニティ心理学を専門とする（あるいは、しようとしている）者に求められる役割（使命）とは何であろうか。それを考えるに当たって私は、原点に立ち返ってみたい。山本和郎（1986）が述べているように、コミュニティ心理学は「現実の解決すべき課題に対して、根本的な発想の点検と、その課題解決に向かう新しい発想の転換をすることから新しい理論を模索し、そこから新しい技術論、方略論を展開し、現実コミットし、その成果を評価し、検討を加えていく、という一連の作業を目指すものでなくてはならない」からである。

この講演では、コミュニティ心理学がその誕生以来大切にしてきた学問としての価値観や姿勢、さらには理論や方略を概観しつつ、演者らが最近行ったコロナ関係の研究成果をみな様と共有し、この先の課題について一緒に考えていきたい。

1日目 9月18日(土) 14:00~15:30

研究成果をコミュニティに  
—日常の疑問を研究論文に仕上げるまで—

話題提供	荊 木 まき子 (就実短期大学)
	後 藤 綾文 (岐阜聖徳学園大学)
指定討論	石 盛 真徳 (追手門学院大学)
司会	永 井 智 (立正大学)
企画	日本コミュニティ心理学会 編集委員会・教育研修委員会

**企画趣旨**

本企画は、会員の皆様の学会への投稿・掲載の促進を目的として実施するものです。学問の発展、学会の活性化において学会誌が果たす役割が重要であることは言うまでもありません。20年以上の歴史を重ねる本学会も、日本のコミュニティ心理学の発展に中心的な役割を果たしてきました。しかし一方で、近年の「コミュニティ心理学研究」に掲載される論文の数は、残念ながら決して多くはありません。

そこで本企画では、論文投稿経験者、査読経験者にご登壇いただき、投稿者と審査者両方の目線から、コミュニティ心理学の研究を論文として発表際のポイントやコツ、その楽しさ、査読者への物言いなどざっくばらんに語り合い、一人でも多くの方が、学会誌への論文投稿・掲載につなげ、コミュニティ心理学の発展、学会の活性化につなげていきたいと思えます。

# オンライン発表

9月18日(土)

発表18-A、B 9:40~12:45

発表18-C、D 15:40~18:20

9月19日(日)

発表19-A、B 9:00~12:10

発表19-C 16:10~17:40

---

18-A 1日目 9月18日(土) 9:40~11:10

座長:後藤 綾文(岐阜聖徳学園大学)、齋藤誠四郎(立教大学)

---

1 大学生の友人の所在及び大学生活における居心地と学習意欲の関連

齋藤 光 香川大学大学院

長谷川 恵美子 聖学院大学

谷淵 真也 香川大学大学院

2 生活拠点の移動に伴うストレスへの対処資源喪失と首尾一貫感覚(SOC)との関係

—日本人大学生と在日留学生のデータより—

栗山 七重 大阪大学

3 学生ピアサポート活動の指導者における指導行動の検討

横山 孝行 東京大学

鬼塚 淳子 東京大学

落合 舞子 東京大学

大島 紀人 東京大学

高野 明 東京大学

---

18-B 1日目 9月18日(土) 11:15~12:45

座長:四辻 伸吾(大阪大谷大学)、荊木まき子(就実短期大学)

---

1 クライアントは通話とビデオ通話を使い分けたいか? —通信形式を選択できることの意義—

三枝 弘幸 東京大学

千葉 一輝 株式会社 cotree

原田 陸 株式会社 cotree

## 2 大学生のオンラインカウンセリングへの援助要請の特徴とその関連要因

—対面カウンセリングとの比較を通して—

木村	真人	大阪国際大学
水野	治久	大阪教育大学
永井	智	立正大学
本田	真大	北海道教育大学
飯田	敏晴	立教大学

## 3 写真表現による教育実践は児童の自己肯定感を高めるのか

—フォト・ベースド・コミュニケーションの効果検証—

林	幸史	大阪国際大学
---	----	--------

---

18-C 1日目 9月18日(土) 15:40~16:40

座長:本田 真大(北海道教育大学)、齋藤 誠四郎(立教大学)

---

## 1 うつ病への対処における情報ニーズとその関連要因

—症状への認識および援助要請意図・態度に着目して—

赤司	萌	東京大学大学院
----	---	---------

## 2 若者を対象としたうつ病のメンタルヘルス・リテラシーにおける

セルフケアとファーストエイド・スキルの違いに関する質的検討

田中	志歩	上智大学大学院
久田	満	上智大学

---

18-D 1日目 9月18日(土) 16:50~18:20

座長:木村 真人(大阪国際大学)、飯田 敏晴(立教大学)

---

1 日本人の感謝場面における感情を測定する項目の検討

松下 健 北陸学院大学

2 コロナ禍における大都市在宅高齢者のメンタルヘルス(1)

ーコロナ不安尺度作成の試みー

伊藤 慎悟 上智大学

菊池 浩旦 上智大学大学院

久田 満 上智大学

3 コロナ禍における大都市在宅高齢者のメンタルヘルス(2)

ーメンタルヘルスの規定要因ー

菊池 浩旦 上智大学大学院

伊藤 慎悟 上智大学

久田 満 上智大学



---

19-A 2日目 9月19日(日) 9:00~10:30

座長:四辻 伸吾(大阪大谷大学)、木村 真人(大阪国際大学)

---

1 不登校児童生徒を対象とした大学での居場所活動における対人交流の変容過程(3)

—オンラインビデオ会議システムを用いた実践から—

鎌田 真実 北翔大学大学院

澤 聡一 北翔大学

2 不登校児童生徒を対象とした大学での居場所活動における対人交流の変容過程(4)

—計量テキスト分析を用いたオンラインでの活動記録の検討—

澤 聡一 北翔大学

鎌田 真実 北翔大学大学院

3 短期間で実施される集団宿泊活動が参加する児童に与える長期的影響

山田 文 上智大学大学院

久田 満 上智大学

---

19-B 2日目 9月19日(日) 10:40~12:10

座長:飯田 敏晴(立教大学)、後藤 綾文(岐阜聖徳学園大学)

---

1 「世界青年の船」事業の船上での異文化体験過程に関する質的検討

村川 幸穂 香川大学大学院

竹森 元彦 香川大学大学院

谷淵 真也 香川大学大学院

2 子どもの居場所の人材育成とスキルアップの仕組みづくりに関する研究

吉永 真理 昭和薬科大学

田村 光子 植草学園短期大学

### 3 人間はコミュニティの中でどのように自己を作り出しているのか？

－生態学的対人環境の構造化および

総体としての多層的対人環境内での自己生成・変容様態の定量的検討－

長谷川 舞 専修大学大学院

下斗米 淳 専修大学

---

19-C 2日目 9月19日(日) 16:10~17:40

座長:水野 治久(大阪教育大学)、木村 真人(大阪国際大学)

---

#### 1 自死遺族セルフヘルプ・グループでのスタッフの運営スタンスと困難に関する質的分析

三好 真人 常葉大学

西川 博貴 比治山大学大学院

木谷 智子 比治山大学

#### 2 コミュニティ心理学から見たコロナ禍における「共助」としての フードバンクの意義(1)

－参与観察およびスタッフへの面接調査による実態の生態学的検討－

加藤 慧 東京外国語大学大学院

吉田 光成 専修大学大学院

#### 3 日本語指導が必要な児童生徒と家族を支える地域日本語教室の課題

－複線径路等至性アプローチ(TEA)による分析－

市川 章子 玉川大学

# 自主企画

9月18日（土）

16:20～18:20

チーム学校の実現に向けた  
多職種連携教育の各養成課程における現状と課題

## 自主企画ラウンドテーブル

1日目 9月18日(土) 16:20~18:20

### チーム学校の実現に向けた 多職種連携教育の各養成課程における現状と課題

企画	荊木	まき子 (就実短期大学)
ディスカッション	森田	英嗣 (大阪教育大学)
	相楽	直子 (宮城大学)
	平野	貴大 (沖縄大学)
	竹森	元彦 (香川大学)

#### 企画趣旨

チーム学校（文部科学省，2015）の実現に、多職種連携教育の構築は急務であるといえる。しかし教育領域において、多職種連携教育の報告されている事例は保健医療福祉領域と比較しても少なく（荊木・森田，2019）、今後これらの知見を蓄積していくことは重要であると考えられる。そこで、本ラウンドテーブルは、1部では、最初に教育領域における多職種連携教育の概観（荊木）について話をする。その後、教育学部および関連大学院（森田）、養護教諭養成課程（相楽）、社会福祉士養成課程（平野）、心理職養成課程（竹森）から、各領域における多職種連携教育について①意義、②現状（実施状況等）、③課題と展望の観点から、発表していただく。第2部では、フロアにも議論に参加してもらい、各領域の課題と展望を踏まえ、チーム学校の実現に向けて、多職種連携教育をどのように統合し、展開していくのかについて議論し、今後の展望とする。

## 第 24 回 日本コミュニティ心理学会大会運営委員会

大会長	水野 治久 (大阪教育大学)
副大会長	木村 真人 (大阪国際大学)
事務局長	飯田 敏晴 (立教大学)
運営委員	永井 智 (立正大学)
	荊木 まき子 (就実短期大学)
	四辻 伸吾 (大阪大谷大学)
	後藤 綾文 (岐阜聖徳学園大学)
	齋藤 誠四郎 (立教大学)
	本田 真大 (北海道教育大学)